

**政策 03 快適な生活を支えるまちづくり**

**施策 01 質の高い住環境の整備**

**あるべき姿**

- 施策がめざす尾張旭市の姿
- ・秩序ある街並みとやすらぎのある空間が形成されています。
  - ・街区や公園などの住環境が整備され、快適に生活できる環境が整っています。

**施策の成果状況と評価**

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民の割合 (%) 【都市計画課】	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
			90.2	91	91.4	91
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が0.4ポイント増加した。これは、区画整理事業に伴う道路整備や公園整備により、良好な環境が整備されたことが要因と考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
					目 標 達成度	🏰 (達成)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 良好な市街地の形成

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	都市計画マスタープラン（市街地整備分）の進捗率（％） 【都市計画課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		88.3	91.3	91.3	90.3	☀️ (向上)
評価	成果指標は、昨年度実績値と比較すると横ばいであるが、平成30年度の目標値に達しており成果は上がっている。引き続き、都市計画マスタープラン庁内推進会議を開催し、適切に進行管理を実施する。					☀️ (向上)
						☁️ (横ばい)
						🏰 (達成)

## 基本事業01 良好な市街地の形成

指標	秩序ある街区となっている市街地面積割合（％） 【都市整備課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		57.8	58.9	59.1	60.1	☀️ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が0.2ポイント増加した。これは、北原山土地区画整理事業の実施により、尾張旭北原山土地区画整理組合に補助金を交付し、区域内の建物移転、道路築造などの街区整備を推進できたことが主な要因と考えられる。					☀️ (向上)
						☁️ (横ばい)
						🏰 (達成)

## 基本事業02 公園等によるうるおいのある空間づくり

指標	市街地の公園などの面積（ha） 【都市整備課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		84.3	86.1	86.1	86	☀️ (向上)
評価	指標としては、前年度の実績値と変化はないが、H30は、市道南栄3号線の道路拡幅整備、新池公園区域減少0.1ha及び北原山広場の追加0.09haを実施している。					☀️ (向上)
						☁️ (横ばい)
						🏰 (達成)

## 基本事業02 公園等によるうるおいのある空間づくり

指標	市内の公園が安全で快適に利用できると思う市民の割合（％） 【都市整備課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		88.2	89	88	89	☔️ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が1ポイント指標が低下した。公園愛護会が円滑に活動できるように活動支援を行っているが、成果に結びついていない。					☔️ (低下)
						☁️ (横ばい)
						🏰 (達成)

**基本事業03 都市景観の向上**

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	都市景観に満足している市民の割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
		【都市計画課】	82.4	81.7	77.3	83
評価	平成29年度に比べ4.4ポイント減少しているが、「無回答」が4.7ポイント増加している。これは、都市景観に不満を持つ層が増えたのではなく、関心を持たない層が増えたと分析できる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						(---)

**基本事業04 市営住宅の適切な管理**

指標	市営住宅の維持管理上の事故件数（件）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
		【都市計画課】	0	0	0	0
評価	入居者の居住環境が安定し、かつ建物の長期使用を目指して適正に維持管理されており、事故は発生していない。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☑ (達成)